

教育目標: ○ 自ら学び、よく考える ○ 進んで協力し、他人を思いやる ○ 心身ともにたくましく、最後までやりぬく

めざす学校像: ○ 生徒が主体的に学び活動する学校 ○ 教職員が協働して教育活動を創造していく学校 ○ 保護者や地域社会から信頼される学校

めざす生徒像: ○ 自分の夢に向かって意欲的に学ぶ生徒 ○ 他人のために労を惜しまない心豊かな生徒 ○ 強い意志と自信をもち、たくましく生きる生徒

めざす教師像: ○ 教育に対する熱意と使命感に富む教師 ○ 一人一人の良さや可能性を引き出せる教師 ○ 研修意欲に富み互いを高め合う教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標評価				成果指標評価						
				中間	最終	基準		中間	最終	基準				
						4	3			4	3			
豊かな心と社会性	「豊かな心と社会性を育む。」 ・豊かな情操や規範意識 ・自他の生命の尊重、他者への思いやり ・公共の精神 ・人間関係を築く力 ・困難を乗り越え成長し遂げる力 ・自分のよさや可能性を認識する力 ・多様な人々と協働する力	・生徒の自己肯定感を高め、不登校やいじめ等の課題の解決につなげる。 ・道徳の時間を「自分なりの答え」を見出す時間とし充実を図る。 ・社会的能力(「自己表現力」「自己コントロール力」「状況判断力」「問題解決力」「親和的能力」「思いやり)」を高める。	一人一人の良さを見つけ、褒め、認め、励まし、伸ばす指導(コンプリメント)を推進する。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員90%以上	○	○	4	自己肯定感に係る高評価80%以上			
				3	ほぼ取り組めたとする教員80%以上	3	自己肯定感に係る高評価75%以上							
				2	ほぼ取り組めたとする教員70%以上	2	自己肯定感に係る高評価70%以上							
				1	ほぼ取り組めたとする教員70%未満	1	自己肯定感に係る高評価70%未満							
			「特別の教科 道徳」は、指導方法を工夫し、「考える道徳」「議論する道徳」を推進する。評価は、生徒の良さを認め意欲につながる評価を行う。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員90%以上	○	○	4	道徳の時間の取組に係る高評価80%以上			
				3	ほぼ取り組めたとする教員80%以上	3	道徳の時間の取組に係る高評価75%以上							
				2	ほぼ取り組めたとする教員70%以上	2	道徳の時間の取組に係る高評価70%以上							
				1	ほぼ取り組めたとする教員70%未満	1	道徳の時間の取組に係る高評価70%未満							
			教育活動の様々な場面で、それぞれの教員の持ち味を活かし、生徒の社会的能力を高める指導を行う。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員90%以上	○	○	4	社会的能力が高まったと思う生徒が80%以上			
				3	ほぼ取り組めたとする教員80%以上	3	社会的能力が高まったと思う生徒が75%以上							
				2	ほぼ取り組めたとする教員70%以上	2	社会的能力が高まったと思う生徒が70%以上							
				1	ほぼ取り組めたとする教員70%未満	1	社会的能力が高まったと思う生徒が70%未満							
確かな学力	「基礎力、思考力、実践力をバランスよく育み生徒一人一人に確かな学力を育成する。」	基礎的な知識や技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、学びに向かう力を高める。	ICT機器の活用、1人1台の端末の活用をすすめ、また授業のユニバーサルデザイン化を図り、分かる授業をすすめる。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員90%以上	○	○	4	授業は楽しくわかりやすい80%以上			
				3	ほぼ取り組めたとする教員80%以上	3	授業は楽しくわかりやすい75%以上							
				2	ほぼ取り組めたとする教員70%以上	2	授業は楽しくわかりやすい70%以上							
				1	ほぼ取り組めたとする教員70%未満	1	授業は楽しくわかりやすい70%未満							
			朝読書、質問教室、補充教室、サポート教室等を実施し励ましや肯定的な声かけ等、個に応じた指導を充実させる。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員90%以上	○	○	4	基礎・基本的な知識や技能が身についた80%以上			
				3	ほぼ取り組めたとする教員80%以上	3	基礎・基本的な知識や技能が身についた75%以上							
				2	ほぼ取り組めたとする教員70%以上	2	基礎・基本的な知識や技能が身についた70%以上							
				1	ほぼ取り組めたとする教員70%未満	1	基礎・基本的な知識や技能が身についた70%未満							
			学校居心地感	「生徒の学校居心地感を高める。」	生徒の心の居場所、生徒同士のきずなづくりの場所のある環境づくりをすすめる。	生徒の困難さに応じて様々な工夫や手立てを講じる。教科の学習、行事、部活等様々な場面で生徒の学校居心地感を高めるアプローチを行う。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員90%以上	○	○	4	学校居心地感の高評価85%以上
							3	ほぼ取り組めたとする教員80%以上	3	学校居心地感の高評価80%以上				
							2	ほぼ取り組めたとする教員70%以上	2	学校居心地感の高評価75%以上				
							1	ほぼ取り組めたとする教員70%未満	1	学校居心地感の高評価75%未満				
様々な機会に、生徒に役割をもたせ、生徒に「人の役に立つ力をもっている」ことを自覚させる。	○	○				4	ほぼ取り組めたとする教員90%以上	○	○	4	自分は人の役に立っている85%以上			
	3	ほぼ取り組めたとする教員80%以上				3	自分は人の役に立っている80%以上							
	2	ほぼ取り組めたとする教員70%以上				2	自分は人の役に立っている75%以上							
	1	ほぼ取り組めたとする教員70%未満				1	自分は人の役に立っている75%未満							